学校番号	１０９

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	「新　探求現代文Ｂ」（桐原書店）						
副教材等	「重要漢字リアルマスター3300」（尚文出版）・「国語便覧」（数研出版） 「現代文単語」（文英堂）・「こころ」（夏目漱石）（新潮文庫）						

１ 担当者からのメッセージ

・教科書「現代文Ｂ」を中心に評論、小説等を丁寧に読み込んでいくことで読解力や思考力を身につけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

２ 学習の到達目標

１．近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２．近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３．進んで表現し読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、他者の意見を聞いて自分の考えを深め、発展させたりすることができる。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書くことができる。	近代以降の文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させることができる。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙、読書ノート）	記述の確認及び分析（ワークシート・読書ノート）授業中での発表 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査（共通範囲） 漢字小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	村上春樹「自己とは何か(あるいはおいしい牡蠣フライの食べ方)」	○	◎		○	○	a 教材の内容を自分の考えと照らして読もうとしている。 b 本文の記述をきちんと読み取れる。 d 文章を読み取り、「牡蠣フライ」の比喩について正しく理解している。 e 文中での語句の定義、用法を理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認・記述の点検 d、e:漢字小テスト及び定期考査
	評論	鷲田清一「いのちは誰のものか？」 藤井明「「集落の創造」 西部忠『「可能性」としての貨幣』	○	◎		○	○	a 教材の内容に関心を持ち、自分の生活と結びつけて読もうとしている。 b 細かく丁寧に記述を追うことができる。 d 結論とその根拠の関係を正しく読み取ることができる。 e 語句の意味や用法を理解している。	a、b 行動の観察と確認・記述の点検 d、e:漢字小テスト及び定期考査
	小説	中島敦「山月記」	○	○		◎	○	a 日本の近代小説や、教材の内容に関心を持っている。音読は正確で工夫が見られる。 b 人物の心情や情景を把握して朗読し、それを聞いて情景を想像することができる。『山月記』のテーマや登場人物の心情について積極的に話し合い、それらをまとめて発表することができる。 d 虎に変身するに至る李徴の性格を理解している。李徴の苦悩を読み取ることができる。作品全体を貫く主題を読み取ることができる。 e 全文を正しく音読できる。 語句の意味や用法を理解している。中島敦とその作品について理解している。	a、b、発問・授業時の反応 d 発問・定期考査 e 漢字テスト 朗読、漢詩の規則についての確認

1学期	小説	江國香織「晴れた空の下で」	○	○		◎		a　江國香織の代表的小説について知る。 b　細かな表現を読み取り、人物の造形を明確にする。 d　老いを生きることの意味を理解し、命というものに対して新しい認識を得る。	a、b、発問・授業時の反応 d発問・定期考査
2学期	評論	藤原新也「イスラム感覚」 藤井明「集落の創造」 西部忠「可能性としての貨幣」	○			◎	○	a 現代社会の問題について積極的に調べ、教材の内容に関心を持っている。 d 評論の構造に着目し、要旨をすばやくつかむことができる。 e 語句の意味を理解し、文中での用法を説明できる。	a 発問・授業時の反応 d発問・定期考査 e 指名読み発問・小テスト
	小説	夏目漱石「こころ」	○	○	○	◎	○	a 教材の内容に関心を持ち、自分の経験と照らし合わせて読もうとしているか。 b『こころ』のテーマや登場人物の心情について積極的に話し合い、それらをまとめて発表することができたか。 c　夏季休業中「こころ」を読んで初発の感想文を書く。 d「K」の自殺の理由を明らかにし、「私」が死を選んだ理由とどうつながるのかを読み取ることによって、漱石の明治という時代の認識に到達できたか。近代化に対する漱石の批判精神をとらえられたか。 e 夏目漱石の代表的な作品、略歴その思想について理解しているか。	a 発問・授業時の反応 b発問・授業時の活動 cノートへの記入 d発問・定期考査 e 発問・小テスト〉夏目漱石の代表的な作品やその思想について理解しているか。〈発問・小テスト〉
	評論	山極寿一「暴力はどこからきたか」 赤坂憲雄「木を伐る人/植える人」	○	○		◎	○	a 本文の内容について、既習知識を活かし、読み取ろうとしているか。 b 話し合いを通して、「暴力」「環境」といったテーマについて自分の意見を持つことができる。 d 具体例について、文中での働きを理解し、論旨を読み取ることができる。 e「暴力」「環境」という言葉の定義について、より広い視野でとらえることができる。	a 発問・授業時の反応 d発問・定期考査 e 指名読み発問・小テスト

	詩歌	吉原幸子「ふと」 宮沢賢治「永訣の朝」	○	○		◎	○	a 詩の内容を自分なりに読み取ろうとしている。 b 詩に込められた心情を理解できるよう工夫して音読できる。詩の内容について、話し合いを通して読み取ろうとしている。 d 詩を理解するために、多面的な読み方ができている。 e 語彙の特殊な用法を理解する。	a、b、発問・授業時の反応 d 発問・定期考査
3学期	小説	小川洋子「バックストローク」	○	○	○	◎		a　小川洋子の小説にはどんなものがあるかを知る。 b　細かな表現から人物造形を読み取り、この家族の問題点を明らかにする。 c 自分の人生について将来設計を構想する。 d　自己実現とは何かということについて新しい認識を得る。	a 発問・授業時の反応 b 発問・授業時の活動 c 課題作文 d 定期テスト
	評論	丸山真男『「である」ことと「する」こと』	○	○		◎	○	a 本文の内容について、既習知識を活かし、読み取ろうとしているか。 b 話し合いを通して、「である」価値と「する」価値の顛倒について、自分たちの生活から具体例を見つけ、発表できる。 d 具体例について、文中での働きを理解し、論旨を読み取ることができる。 e「言語」という言葉の定義について、それぞれの評論内での意味を理解する。	a 発問・授業時の反応 d 発問・定期考査 e 指名読み発問・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。